

平成30年2月9日開会

平成30年第1回東松島市議会定例会

会派代表質問通告書

東松島市議会

会派代表質問 目次

平成30年第1回定例会

順位	会派名 代表氏名	件 名	頁
第1位	市民クラブ 代表 佐藤 富夫	1 財政運営の見直しを問う	2
		2 副市長2人制について	3
		3 IT時代への小学校必修プログラミング教育について	4
第2位	清新会 代表 滝 健一	1 市政執行における所信の具現策は	5
第3位	清風・公明 代表 五ノ井惣一郎	1 市政執行の所信に伺う	6、7
第4位	復興クラブ 代表 上田 勉	1 各種施策の方針を問う	8～11

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>市民クラブ</p> <p>代表</p> <p>佐藤 富夫</p>	<p>1. 財政運営の見直しを問う</p>	<p>(1) 地方分権一括法が2000年に制定され、地方自治体の独自の運営が期待されたが、財政的には、地方交付税をはじめ補助金、起債等で国に依存し、相変わらず、ほとんどが3割自治を脱却できない状況にあり、本市も例外ではない。加えて政府は、巨額の債務を抱え、日本列島の災害対策に追われている。かつての高度成長の時代とは全く様相が違ふことを再認識し、主体的な地方分権時代に相応した行財政運営の転換が必要と思われるが見解はいかに。</p> <p>(2) 今回の予算編成には財政的に大変苦慮したと聞いているが、今後、震災特需が無くなりつつある中においては、ますます心配されることでもある。そうであるならば、本市の行財政の合理化を加速させ、そこから生み出される財源によって、待ったなしで訪れる各施設の維持、運営など住民サービスに努力すべきであると思うが、その所見について。</p> <p>(3) 冒頭の地方交付税をはじめ、政府の仕送りは、特別な場合を除き多くは望めない状況にある。私は前市長時代に複数回にわたって、法定外税収および地方税法による地方が課することのできる税の導入を提言したが、いずれも採用されなかった。この際、これらについて研究し採用してはどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第1位</p> <p>市民クラブ</p> <p>代表</p> <p>佐藤 富夫</p>	<p>2.副市長2人制について</p>	<p>標題については、先日に条例化されたばかりであるが、 <small>ちまた</small>巷では金が無いのになぜなのか疑問を呈している状況と聞く。議会も可決した以上、具体的説明を求められるので、役割を聞いておく必要がある。これらについては、私は「衆盲象を評す」と同様であり、その役割を市長は市民に対し、丁寧な説明をする責任を果たしてほしいと提言するものであるが、いかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p data-bbox="177 315 276 353"><u>第1位</u></p> <p data-bbox="209 412 245 645">市 民 ク ラ ブ</p> <p data-bbox="209 734 245 813">代 表</p> <p data-bbox="209 898 245 1093">佐 藤 富 夫</p>	<p data-bbox="312 315 549 499">3 . I T時代への小学校必修プログラミング教育について</p>	<p data-bbox="580 315 1422 551"> 標題については、2020年度を目指し政府は方針を決定した。これは世界に後れを取らないように、子ども時代からハードからソフトまで日常的になじませ、技術者不足傾向にある今日から、いずれ世界に羽ばたく人材の養成を目指すものである。 </p> <p data-bbox="580 566 1422 701"> これは始まったばかりで宮城県は後れを取っているようであるが、いずれ現実的になるであろうことから、当局はどのように受け止めているか。の所見。 </p> <p data-bbox="587 763 1015 801">(1) 教師および人材の確保。</p> <p data-bbox="587 864 1310 902">(2) 学習要領およびカリキュラム日程について。</p> <p data-bbox="911 1061 1410 1099" style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>清新会</p> <p>代表</p> <p>滝健一</p>	<p>1. 市政執行における所信の具現策は</p>	<p>市長は市政運営のための所信の一端を述べられたが、次の施策に関して、その具体的な実現方策などについて伺う。</p> <p>(1) 東日本大震災から7年となる平成30年度だが、復興期間については、平成23年度に「東松島市復興まちづくり計画」を策定した時期から前期5年を「復旧・復興期」、後期5年を「発展期」としている。平成30年度は発展期の3年目にあたる。住宅の整備や公共施設の再建はかなり進んだが、被災者の心の復興、新しい地域コミュニティの醸成、そして、それに立脚した産業の振興など、復興期間における見通しと具現策について、阿部前市政を継承し、震災復興の加速化、完結に全力を傾注される市長の考え。</p> <p>(2) 少子高齢化対策や関連人口、交流人口の拡大、さらには移住定住化対策、空き家の利活用等々、地方創生総合戦略とも言える取り組みの効果ある具体的施策。</p> <p>(3) 被災自治体の財政は厳しい状況となっている。地方財政を取り巻く動向に機敏に対処する行財政改革を進展させるための具体的方策について。</p> <p>(4) 小中学生の教育に関して、子供たちの個性と能力を伸ばす学校教育をどのように推進していくか。また、そのための教職員の働き方改革の動きはどのような傾向にあるか。</p> <p>(5) これまで市民協働で培われた共助の精神と軌道に乗りつつある地域自治組織を連携することにより、さらなるレベルの高い市民力の確保が求められている。市長はその体制整備の必要性を認識されているが、さまざまな課題に対応する地域自治協働の体制をどのような手法で整えていくのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>清風・公明</p> <p>代表</p> <p>五ノ井 惣一郎</p>	<p>1. 市政執行の所信に伺う</p>	<p>国、県とのパイプを活かして、7つのマニフェストの実現を目指し、前市長の市政を継承して震災復興の加速を市民と約束し、新年度予算は昨年度より138億2千万円減の予算を計上され、厳しい財政の中、活力あるふるさと再生の思いを込めた市政執行についての所信を具体的に伺う。</p> <p>(1) 防災集団移転促進事業も完了し、まだ空き区画が残っているものの、追加整備の柳の目西地区での災害公営住宅の整備が完了すればこの事業も終了する。今後は被災した皆さんの「心の復興」地域の「コミュニティ」が必要である。その推進の取り組みについての考えを伺う。</p> <p>(2) 「少子高齢化」、「定住化」、「交流人口の増加」等の地方創生総合戦略の実現をどのような施策で努めるか具体的に伺う。</p> <p>(3) 今後、地方財政の財源不足は昨年度から歳入・歳出の乖離<small>かいり</small>が見られる中、本市においても「地方交付税」の大幅な減額等により、当初予算の編成では財政状況がさらに厳しい中で、各基金等からの繰り入れ編成の中で行政改革を着実に進め、国の地方創生や人づくり革命の政策の制度運用の行財政運用を行うとあるが、具体的な施策とその考えを伺う。</p> <p>(4) 平成32年「復興五輪」が開催される。本市は震災を通じデンマークのホストタウンとして選定され復興の完結とともに新たな東松島市への変革の絶好の好機と捉えているがどのような取り組みを考えているか具体的に伺う。</p> <p>(5) 「備(そなえる)」「命」を守るについて、震災後、消防団の確保の強化育成、自主防災組織の役割が重要視されている。また狭隘<small>きょうあい</small>で老朽化している矢本消防署の移転が検討されているが、これらは早期に取り組みなければならない課題であるがこれらの取り組みについて伺う。</p>

氏名	件名	要旨
<p data-bbox="177 315 276 353"><u>第3位</u></p> <p data-bbox="209 412 244 629">清風・公明</p> <p data-bbox="209 712 244 790">代表</p> <p data-bbox="209 871 244 987">五ノ井</p> <p data-bbox="209 1032 244 1149">惣一郎</p>		<p data-bbox="587 315 1433 551">(6) 働きがいのある魅力的な産業があるまちは、基幹産業である農業・漁業は担い手の魅力あるものでなければならない。それにより6次産業化、物産のブランド化、生産規模の拡大、販売体制の充実の取り組みについて具体的にどのような取り組みがあるのか伺う。</p> <p data-bbox="587 613 1433 801">(7) 本市の持続的な発展に向けて、市民ファーストを基本として、地域自治組織、地区自治会との連携により高い市民力が発揮できる体制整備に取り組むとあるが、具体的にその取り組みについて伺う。</p> <p data-bbox="587 864 1433 999">(8) 石巻市境部分を含めた赤井東部地区の土地利用についての活用策は、今後どのように進めるのか具体的にその活用についての考えを伺う。</p> <p data-bbox="1046 1111 1417 1149" style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p data-bbox="177 315 276 349">第4位</p> <p data-bbox="209 427 244 685">復興クラブ</p> <p data-bbox="209 819 244 913">代表</p> <p data-bbox="209 1055 244 1149">上田</p> <p data-bbox="209 1223 244 1256">勉</p>	<p data-bbox="312 315 549 405">1. 各種施策の方針を問う</p>	<p data-bbox="580 315 1423 741">復興の加速化・完結は、市長マニフェストの根幹をなすものである。平成32年度末の復興庁閉庁までに震災復興のハード面での完成はもちろんであるが、いわゆる、移転先地をはじめとする本市としてのコミュニティづくりや自治会制度の進捗を重視しつつ、市民力や「心の復興」を重要課題としながら、総合計画で目指す将来像の実現に向けて各種施策を行う重要な年度となり予算執行の基本とすべき編成でなければならない。</p> <p data-bbox="580 770 1423 1196">市政執行における所信において、当初予算、一般会計292億8,000万円の中で、復興関連予算および平常時における生活水準達成のための重視施策に要する予算配分に関する考え方、「安心・安全に暮らせる防災自立都市づくり」、「若い世代の定住化促進」、「産業振興の推進の取り組み方」、基本的危機管理を重視しての「自主防災組織の意識向上と他行政機関との連携」等を踏まえて、次の事項について所信の具体的考え方を伺う。</p> <p data-bbox="580 1279 1034 1312">(1) HOPEの活用について</p> <p data-bbox="603 1341 1423 1599">一般質問にもあるが、各種施策の実施に当たって、危機管理、企業誘致、復興関連事業の具現化、さらには学力向上施策、特に、分かる授業の実践において、HOPEの機能を十分活用すべきと考えるが具体的活用について伺う。</p> <p data-bbox="580 1682 935 1715">(2) 基地交付金の利用</p> <p data-bbox="603 1744 1423 1823">市長は当選当初から、市政運営に必要な関係各省庁に積極的に要望活動などを行ってきた。</p> <p data-bbox="603 1852 1423 1998">とりわけ、防衛省については、東北防衛局、松島基地を何度となく訪問し、交付金の増額・利用について、要望している。</p> <p data-bbox="635 2027 1423 2049">わが会派も、与党関係国会議員への要望書提出、外務</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>復興クラブ</p> <p>代表</p> <p>上田勉</p>		<p>副大臣、豊田防衛事務次官などにもまちづくりに必要な予算確保について要望書提出などを行い、今年度予算への反映に感触を得てきた。</p> <p>しかし、中・長期的に見てこれらの要望活動は、単発に終わってはいけない。</p> <p>年々減少傾向にある交付金の増額要望や活用については、メニューを精査し、中・長期的な視野に立って利用すべきである。</p> <p>今後の計画について伺う。</p> <p>(3) 職員交流について</p> <p>震災以来、多くの自治体からの支援を得て、東松島市は、復旧復興のトップランナーと言われるまでに至り、順調に各種事業が進展した。</p> <p>自治体派遣の職員もしかりであり、震災当初に比較して、報告によると年々その数は減少している。原因としては、復興の進捗や近年多くなっている各地域での大規模災害の影響もあるようである。</p> <p>今年度も減少しているようである。派遣職員や定年後の職員の再雇用などでカバーするなどの手法は、これからの「心の復興」を重視するとしたならば、頭打ちとなる。</p> <p>そこでこれらの打開策として、防災関連提携や友好都市提携を結んだ市町村を主として職員の相互交流により相互の足りない部分の補完に役立ててはいかかが。</p> <p>市長の考えを伺う。</p> <p>(4) 友好都市提携について</p> <p>今年5月、福岡県豊前市との友好都市提携が行われる。豊前市は、震災を契機にわが市への支援が続けられ、夏祭りの支援や職員の派遣などで大変お世話になっている。</p>

氏名	件名	要 旨
<p>第4位</p> <p>復興クラブ</p> <p>代表</p> <p>上田 勉</p>		<p>更別村に加え、震災後の縁で東根市、東松山市、大田区と友好都市提携が行われた。</p> <p>しかし、外国との友好都市提携の機会を得ていない。デンマーク王国ロラン市などとの災害協定はあるが、そのほかはない。</p> <p>以前、韓国との交流はあったが、一方的に破られた。外国との友好都市提携の難しさはあるが、他国との交流を通じて異文化に接する機会を得ながら、より国際的な知識や活動への意識の醸成に役立つと考える。</p> <p>予算との相談もあるが、世界に羽ばたく人材育成に役立つと考えるが市長の考えを伺う。</p> <p>(5) 宮城オルレの奥松島コースの充実について</p> <p>12月の一般質問でも伺ったが、単に宮戸を中心とした整備で終わってはならない。</p> <p>このトレッキングコースが1日で終わってはならないし、宿泊場所の確保により、複数日の滞在を確保するなどの工夫が必要である。</p> <p>また、インバウンドのみならず日本各地からの誘客、東松島市全域のいいところ歩きにつなげる必要がある。</p> <p>もちろん東松島市の市民が、この奥松島コースを習熟していく必要もある。</p> <p>私は、自衛隊にいるとき、「矢本8景」なるものをつくり入校した学生に紹介した。もちろん現在、宮戸8景や新矢本8景があり過去において矢本8景なるお菓子も存在していたことも承知している。自転車で2時間、歩いて4時間のコース。形として残っているもので分かりやすい史跡として、月観の松、一杯清水、大槻俊斎の生家、矢本横穴墓群、滝不動尊、新山神社、弘安の図像<small>いたび</small>板碑、大塩小学校の<small>こうやまき</small>高野槇、最後に滝山で弁当を食べるなどした。</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第4位</p> <p>復興 ク ラ ブ</p> <p>代 表</p> <p>上 田</p> <p>勉</p>		<p>このように矢木地区にも古き歴史が存在する。 宿泊地についてもどのように整備するのか、考えを伺 う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

